1 【解き方】問 1. ⑴ 過去形の文。fly の過去形は flew。⑵「小学校での 6 年間を終えるのにずいぶん時間がかかったよ」。「〜するのに…（時間）かかる」= It takes … to 〜。⑶「〜したことを覚えている」= remember 〜ing。

問 2. A. アリスの「小動物は時間がスローモーションで過ぎているように感じている」というせりふを聞いて言った言葉。That sounds strange. =「それは変だね」。B. 直前のトムのせりふに対する言葉。アリスは「ふざけないで」と言った。Don't be silly. =「ふざけないで，バカなことを言わないで」。C. トムの「骨折はしなかった」というせりふを聞いて言った言葉。Glad to hear it. =「それを聞いてうれしい，それはよかった」。D. トムの「もし週末をたくさんの異なる新しい活動で一杯にすることができれば，その週末は長く感じられるし，より楽しむことができるだろう」というせりふに同意している。We should do that =「そうするべきだ」。

問 3. 直後の文とアリスの 9 つ目のせりふを見る。They begin to work really hard to process information more quickly. =「より速く情報を処理するために脳がとても活発に活動し始める」。In a shocking or new situation your brain starts to record every little thing that happens. =「ショッキングな状況や新しい状況になると，脳は起こっている全ての小さなことまで記録し始める」。

問 4. 危険な状況になったときの脳の働きについてアリスが説明し，直後にトムが Yes と答えていることから考える。「あなたは今までに危険な状況になったことがある？」などの疑問文が入る。

問 5. 直前の文の内容を指している。if you have more memory of a new event, you believe it took longer =「新しい出来事の記憶がより多くあれば，より長い時間がかかったと感じる」。

問 6. 1. 同じ文の最後にある familiar（よく知っている）という言葉から考える。「僕たちのような大人は『同じ』ことをしている」。2・3.「新しい出来事の記憶がより多くあれば，より長い時間がかかったと感じる」ということから考える。「たくさんの『異なる』新しい活動で一杯にすることができれば，その週末は『長く』感じられる」。

【答】問 1. ⑴ flew ⑵ to finish ⑶ waiting 問 2. A. ㈠ B. ㈡ C. ㈦ D. ㈠ 問 3. より速く情報を処理するために脳がとても活発に活動し始める。・脳は起こっている全ての小さなことまで記録し始める。（それぞれ同意可） 問 4. （例）Have you ever been in a dangerous situation? 問 5. 新しい出来事の記憶がより多くあれば，より長い時間がかかったと感じるということ。（同意可） 問 6. 1. same 2. different 3. long

◀全訳▶

トム　：アリス，週末は楽しかった？

アリス：いいえ，あまりにもすぐに終わってしまったわ！　飛ぶように過ぎてしまったし―すぐに経ってしまうという意味だけれど―また仕事に逆戻りだわ！

トム　：そうだね。君の気持ちはわかるよ。子供の頃とは違うよね。小学校の頃は，たった 1 週間でも長い時間に感じられた。小学校での 6 年間を終えるのにずいぶん時間がかかったよ。

アリス：ははは。そうね，毎年次の誕生日を待っていたのを覚えているわ。1 年が 100 年のように感じられたのよ！

トム　：誰にとっても―動物にとってさえ―時間が同じスピードで流れていると思う？　僕のネコはたいてい 1 日中何もせずに眠っているんだ。どうして彼女は退屈しないんだろう。彼らの時間の感覚は僕たちのものとは違うのかな？

アリス：いい質問ね。その答えはイエスよ，トム！　最近の研究によれば，小動物は時間がスローモーションで過ぎているように感じているのよ。

トム　：それは変だね。彼らは僕たちの言葉をこんなふうに聞いているのかな：ゆ…っ…く…り…と…話…し…て…い…る？

アリス：ふざけないでよ，トム！　小さな昆虫や小さな鳥などのような小動物は大型の動物よりも一定の時間—例えば１秒間—により多くのものを見ることができるということよ。

トム　：時間がそんな感じでゆっくりと進むと１日がとても退屈になるように思えるよ！　彼らにとってこれがどんな役に立つの？

アリス：より大きな動物から逃げる時間を与えてくれるの。小さな昆虫の目は人間の目の４倍くらいの速さで動くことができるらしいわ。

トム　：うわあ，昆虫はとてもすばやいんだね。

アリス：そうよ。小動物はたいてい私たちよりも多くの情報を処理することができるのよ。でも危険な状況になると私たちの脳は普段とは違うことをするの。より速く情報を処理するために脳がとても活発に活動し始めるの。その結果，私たちは同時に多くの異なることを考えたり感じたりするのよ。あなたは今までに危険な状態になったことがある？

トム　：うん，10 才のときに庭にある大きな木から落ちたんだ。

アリス：あらまあ！　あなたの脳は活発に働いたの，トム？

トム　：うん。僕の上できらめく太陽や，空を流れる雲，僕の上にある木でカサカサと音を出す葉っぱの鮮明な記憶がある。お母さんがキッチンの窓から叫んでいた。ほんの数秒の間にそれだけ多くのことを経験したよ。

アリス：まあ，かわいそうなトム！　ケガをしたの？

トム　：したよ，—でも骨折はしなかった。

アリス：それはよかった。さて，これが私たちの脳に関するもう１つの特別なことなの！　ショッキングな状況や新しい状況になると，脳は起こっている全ての小さなことまで記録し始めるの。だからあなたはそんなにも鮮明に木から落ちたことを覚えているのよ。長い時間だと感じた？

トム　：そうだね，感じたよ。

アリス：ショッキングな状況と同様に，新しい出来事の記憶がより多くあれば，より長い時間がかかったと感じるの。この考えによって子供たちがしばしば１年をとても長く感じることが説明されるのよ—彼らの経験が新しいものであり，彼らが新しい記憶をたくさん創り出しているわけだから。

トム　：僕たちのような大人は同じことばかりしていて，それらはよく知っていることなので新しい記憶が必要ではないんだね。でもこの記事の中で，科学者がどのようにいい方法で時間をより長くすることができるかについて語っているよ！　「もし週末をたくさんの異なる新しい活動で一杯にすることができれば，その週末は長く感じられるし，より楽しむことができるだろう」

アリス：今週末は私たちもそうするべきね，トム。どう思う？

トム　：賛成だ。ハチのように忙しく動き回って新しい記憶をたくさん創り出すことにするよ。